

アンケート調査について

2010年6月にWebQS（本学が開発したWebとメールを利用したアンケート・システム）を用いて電子ジャーナルに関するアンケート調査を行った。この調査は、全学的な電子ジャーナル購読に関する方針を作成するための基礎資料を得ることを目的として実施したものである。

本来ならば学生を含めて調査を行うべきであったが、学生のメール・アドレス（WebQSを利用するには回答者のメール・アドレスが必要となる）が葉山本部で把握できていなかったため、教員のみを対象とした。また、2009年度の職員録に記載されているメール・アドレスを利用することにしたため、メール・アドレスが記載されていない教員、2010年度に新規採用となった教員は調査対象に含まれていない。

アンケート調査を依頼したのは1,186名で、このうち15名がメールアドレスが不備のため配信されなかった。したがって、最終的にアンケート対象者は1,171名となる。そのうち回答者数は418名で、回答率は約35.7%となった。

当初、アンケート結果をどのように解釈すればよいか図書館内部で議論したが、本報告書は集計結果のみを載せることにした。自由記述の項目についても、分類など行わず、回答者の意見をそのまま掲載した。各基盤機関、専攻で議論していただき、意見や提案をいただければと考えている。

2010年9月

附属図書館長 及川 昭文